

報道関係のみなさまへ

一般社団法人 日本ゴールボール協会

「東京2020パラリンピック競技大会における最終推薦内定選手の決定について」

一般社団法人 日本ゴールボール協会（会長：梶本美智子、東京都足立区）は、3月22日の理事会にて、「東京2020パラリンピック競技大会」の推薦内定選手を男子2名、女子1名を決定し、最終的に男子6名、女子6名が決定しましたので、お知らせいたします。

男子



信澤 用秀

Nobusawa Yoshu

所属 フコクしんらい生命保険株式会社

強化ランク	A
ポジション	レフト
競技歴	17年
障害名	網膜芽細胞腫
生年月日	1986年7月4日
身長	176cm
クラス	B1
出生地	東京都台東区
出身地	東京都足立区
現在活動地	東京都文京区

アジアパシフィック選手権大会では、怪我のため内定取り消しとなったが、その後順調な回復を見せ、今選考合宿において本来の能力を発揮したことから、選出に至った。

チーム最年長であることや、多くの国際大会に出場している経験から、チームの精神的支えとなることを期待する。

守備面においては、両ウイング（レフト・ライト）を守ることができ、安定した守備力を発揮することができる。

攻撃面においては、投げ出し位置の分かりにくい投球が特徴で、第1次選考にて内定している3名のウイングプレイヤーと異なるボールを投げることができる。



佐野 優人

Sano Yuto

所属 順天堂大学

強化ランク	B
ポジション	ライト
競技歴	4年
障害名	レーベル遺伝性視神経症
生年月日	2000年6月20日
身長	170cm
クラス	B3
出生地	埼玉県狭山市
出身地	埼玉県狭山市
現在活動地	千葉県印西市

アジアパシフィック選手権大会に出場し、銅メダル獲得に貢献した。守備面においては、主ポジションのライトのみならず、全てのポジションで安定した力を発揮することができることから、今回の選出に至った。また、攻撃面においても、球質の異なる2種類のバウンドボールを中心に攻撃を組み立てながら得点を奪うことができようになり、攻守両面での競技力向上が感じられる。

年齢的にも今後の伸び代が多く、本大会に向けてさらなる飛躍を期待する。

江黒直樹 男子ヘッドコーチのコメント

ブラジル合同合宿が新型コロナウイルス拡大防止のため中止となり、国内選考合宿と変更となった。

世界で勝てる選手を選考するにあたって、とつてもハードな合宿を設定し、選考することとなった。その中で安定した2名の選手を選出した。



推薦内定選手のコメント

信澤 用秀選手

パラリンピック代表選手として周囲に認められる選手、チームであり、結果にこだわり、皆さんに必ず恩返しをしていけるように頑張ります。

皆さんの思いを背負い、力に変え、目標達成に向けて前進していきます。今後ともよろしく願いいたします。

佐野 優人選手

この度は、2020東京大会日本代表選手内定を頂き誠にありがとうございました。今回評価を頂いた固い守備に加え、今後は更なる攻撃力を習得できるよう努力していきます。

競技を始めて4年、いつも支えてくれた家族、魅力を伝えてくれた男子チームの先輩方や周囲の方々の支えがありここまで成長することができました。この恩を金メダル獲得という結果で返せるよう一日一日を大切に過ごしていきます。

女子



高橋 利恵子

Takahashi Rieko

所属 筑波大学

強化ランク	A
ポジション	センター
競技歴	4年
障害名	網膜黄斑変性 網膜色素変性症
生年月日	1998年3月20日
身長	157cm
クラス	B1
出生地	広島県広島市
出身地	広島県広島市
現在活動地	茨城県つくば市

アジアパシフィック大会に引き続き、バンクーバーグランドスラム大会で、センターとして、安定したディフェンス力を発揮したことから、今回の選出に至った。

東京パラリンピック出場枠を獲得しているカナダに対し、大会を通して、能力を発揮したことから今回の選出に至り、ベテランのセンターと若手のセンターとのコラボレーションで、日本の強みである守備力を高めることを期待する。

市川喬一 女子ヘッドコーチのコメント

昨年開催されたアジアパシフィック大会で、全試合フル出場し、金メダル獲得に一役を担い、バンクーバーで開催された国際大会でディフェンスにおいて優秀な成績をおさめたことから今回の選出に至った。東京大会でもディフェンスの要であるセンタープレーヤーとして活躍が期待できる。

推薦内定選手のコメント

高橋 利恵子選手

内定をいただき、ありがとうございます。
ここまでこれたのも、多くの方々の応援やサポートのおかげです。
本番に向けて、今ある課題を克服し、最高のパフォーマンスができるよう準備していきます。
今後とも、応援よろしく願いいたします。

2020東京パラリンピック競技大会 男子日本代表推薦内定選手



田口 侑治
Taguchi Yuji

所属 リーラス株式会社

強化ランク	B
ポジション	センター
競技歴	4年
障害名	網膜色素変性症
生年月日	1991年2月16日
身長	168cm
クラス	B2
出生地	広島県三原市
出身地	広島県竹原市
現在活動地	埼玉県所沢市



山口 凌河
Yamaguchi Ryoga

所属 関彰商事株式会社

強化ランク	B
ポジション	ライト
競技歴	7年
障害名	レーベル遺伝性視神経症
生年月日	1997年1月5日
身長	165cm
クラス	B1
出生地	千葉県野田市
出身地	茨城県取手市
現在活動地	埼玉県所沢市



金子 和也
Kaneko Kazuya

所属 埼玉県立特別支援学校埼玉保己一学園

強化ランク	A
ポジション	レフト
競技歴	4年
障害名	レーベル遺伝性視神経症
生年月日	2000年2月8日
身長	167cm
クラス	B3
出生地	埼玉県さいたま市
出身地	埼玉県さいたま市
現在活動地	埼玉県所沢市



宮食 行次
Miyajiki Koji

所属 株式会社サイバーエージェントウィル

強化ランク	B
ポジション	レフト
競技歴	1年半
障害名	網膜色素変性症
生年月日	1995年3月20日
身長	182cm
クラス	B3
出生地	大阪府吹田市
出身地	大阪府吹田市
現在活動地	埼玉県所沢市



信澤 用秀
Nobusawa Yoshu

所属 フコクしんらい生命保険株式会社

強化ランク	A
ポジション	レフト
競技歴	17年
障害名	網膜芽細胞腫
生年月日	1986年7月4日
身長	176cm
クラス	B1
出生地	東京都台東区
出身地	東京都足立区
現在活動地	東京都文京区



佐野 優人
Sano Yuto

所属 順天堂大学

強化ランク	B
ポジション	ライト
競技歴	4年
障害名	レーベル遺伝性視神経症
生年月日	2000年6月20日
身長	170cm
クラス	B3
出生地	埼玉県狭山市
出身地	埼玉県狭山市
現在活動地	千葉県印西市

江黒 直樹 男子ヘッドコーチより、2020東京パラリンピック競技大会に向けた抱負

我々日本男子チームの目標は『金メダル獲得』。選ばれた選手だけでなく、男子チームとして目標を達成できるような仲間と共にしっかり準備していきます。
今後どうぞよろしくお願いいたします。

2020東京パラリンピック競技大会 女子日本代表推薦内定選手



強化ランク A
 ポジション レフト
 競技歴 10年
 障害名 先天性白皮症
 生年月日 1993年2月19日
 身長 165cm
 クラス B2
 出生地 神奈川県横浜市
 出身地 神奈川県横浜市
 現在活動地 東京都北区

欠端 瑛子

Kakehata Eiko

所属 セガサミーホールディングス株式会社



強化ランク A
 ポジション レフト
 競技歴 9年
 障害名 線維性骨異形成症
 生年月日 1995年8月23日
 身長 164cm
 クラス B1
 出生地 東京都あきる野市
 出身地 東京都青梅市
 現在活動地 埼玉県所沢市

若杉 遥

Wakasugi Haruka

所属 ALSOK



強化ランク A
 ポジション ライト
 競技歴 5年
 障害名 網膜色素変性症
 生年月日 1990年7月26日
 身長 155cm
 クラス B1
 出生地 青森県八戸市
 出身地 青森県八戸市
 現在活動地 東京都

天摩 由貴

Temma Yuki

所属 株式会社マイテック



強化ランク B
 ポジション センター
 競技歴 14年
 障害名 網膜色素変性症
 生年月日 1977年7月1日
 身長 159cm
 クラス B1
 出生地 熊本県南関町
 出身地 熊本県南関町
 現在活動地 福岡県福岡市

浦田 理恵

Urata Rie

所属 総合メディカル株式会社



強化ランク A
 ポジション ライト
 競技歴 18年
 障害名 網膜色素変性症
 生年月日 1975年5月8日
 身長 167cm
 クラス B1
 出生地 福岡県福岡市
 出身地 福岡県福岡市
 現在活動地 福岡県福岡市

小宮 正江

Komiya Masae

所属 株式会社アソウ・ヒューマニーセンター



強化ランク A
 ポジション センター
 競技歴 4年
 障害名 網膜黄斑変性
 網膜色素変性症
 生年月日 1998年3月20日
 身長 157cm
 クラス B1
 出生地 広島県広島市
 出身地 広島県広島市
 現在活動地 茨城県つくば市

高橋 利恵子

Takahashi Rieko

所属 筑波大学

市川 喬一 女子ヘッドコーチより、2020東京パラリンピック競技大会に向けた抱負

6名の選手が選出されたことで、東京パラリンピックに向けたチーム作りがよいよ始まり、リオデジャネイロパラリンピック大会以降に取り組んできた新たなディフェンススタイルが、東京大会で世界の強豪国に対処どこまで通用するのが楽しみです。

多くの方々に会場まで足を運んでいただき、みなさまからの声援を力に変え粉骨砕身の覚悟で邁進いたします。